

平成27年3月1日（日）

# 和歌山市における在宅医療連携の基盤整備 ～多職種多機関による面的支援にむけてのプロセス～

医療法人裕紫会 中谷病院 橋本 道弘  
和歌山市健康局 保健所長 永井 尚子

# 法人概要

名称	医療法人裕紫会 中谷病院
所在地	和歌山市鳴神123番地の1
病床数	195床 【内訳】一般病棟10:1 45床(地域包括ケア病床10床)・回復期リハビリテーション病棟32床・障害者施設一般病棟60床・介護療養型医療施設58床
機能	強化型在宅療養支援病院 24時間365日対応
関連施設	西和歌山病院120床(一般60床・医療療養60床) オリオン血液浄化センター 人工腎臓監視コンソール27床 血液浄化センター 中紀クリニック 人工腎臓監視コンソール40床 介護老人保健施設(併設型) 桔梗苑 30床 保健関連事業 健診事業 特定保健指導  【介護保険関連事業】 訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所 通所リハビリ・訪問介護ステーション・住宅型有料老人ホーム 地域密着型複合施設 (認知デイ・小規模多機能居宅介護・認知症対応型グループホーム)



## 活動の特徴

- 在宅療養支援病院を中心とした地域展開
- 多職種多機関を巻き込んだ形での活動
- 合同カンファレンスを軸に在宅医療連携の基盤整備

# 活動プロセス

重層的なネットワークによる  
町づくり、文化づくり

発展的プロセス

- ・広報パンフ作成
- ・挨拶、協力依頼
- ・アンケート、
- ・ヒアリング訪問
- ・社会資源調査
- ・社会資源マップ
- ・普及啓発活動
- ・合同カンファレンス準備

**第1段階**  
(初動期)

- ・地域課題の抽出
- ・関係職種で情報共有
- ・多職種多機関の連携推進
- ・研修会、シンポジウム
- ・職種間の相互理解
- ・名刺交換、意見交換
- ・コールセンター開設
- ・顔のみえる関係づくり
- ・普及啓発活動
- ・合同カンファレンス

**第2段階**  
(活動期)

## ●課題解決と地域力向上

- ・ホームページにて情報発信
- ・在宅医療関連資料の作成
- ・ICT医療介護連携システム
- ・市民セミナー、出前講座開催
- ・誤嚥性肺炎予防プロジェクト
- ・地域包括ネットワーク会議
- ・在宅医療連携拠点連絡会
- ・24時間365日後方支援
- ・町づくり、文化づくり
- ・普及啓発活動
- ・合同カンファレンス

**第3段階**  
(恒久的活動)

# 和歌山市モデルのイメージ

## 合同カンファレンスを「軸」に連携基盤の整備

### 関係機関

病院 診療所 歯科診療所  
調剤薬局  
訪問看護ステーション  
居宅介護支援事業所  
介護事業所  
地域包括支援センター

医師会  
歯科医師会  
薬剤師会  
看護協会  
介護支援専門員協会  
訪問看護ST連絡協議会  
認知症支援協会  
理学療法士会  
作業療法士会  
言語聴覚士会  
栄養士会  
歯科衛生士会  
和歌山社会事業協会

和歌山県福祉保健部  
和歌山市保健所  
在宅医療連携拠点連絡会

### つながりのある合同カンファレンス

#### 【手法】

- アンケート
- ヒアリング
- 事業報告・評価
- 講演、研修
- グループディスカッション
- パネルディスカッション
- 名刺交換会
- フリーディスカッション
- 懇親会等

#### 【内容】

顔の見える関係づくり  
在宅医療先進事例報告  
地域課題の検討  
課題に対する解決策の検討  
地域連携ツールの検討  
誤嚥性肺炎へのアプローチ  
活動内容の報告  
関連資料、教材の提供

### 具体策の地域展開

情報連絡シートの作成  
コールセンターの開設  
社会資源リストの作成  
医療行為の事前確認書の提供  
わたしの在り方シートの作成  
市民公開セミナー開催  
介護教室の開催  
リーダー研修への参画  
困難事例の調整と同行  
在宅支援病院として24時間受入  
在宅医療連携連絡会の開催  
地域のケア会議に参加  
地方紙へ在宅医療に普及啓発  
誤嚥性肺炎予防対策  
ホームページにて情報発信  
ICT医療介護連携システム

参加

協力

対策

支援

フィードバック

普及啓発

住民ネットワーク

みんな(地域)で解決!

# 合同カンファレンスのGWで抽出された 課題に対するの取り組み内容

地域課題	具体的な対応
「職種間の連携不足がある」 「話し合う機会が少ない」	合同カンファレンス開催 (グループワーク、名刺交換、懇親会等)
「地域の医療・介護の社会資源情報が欲しい」	ホームページの開設 (社会資源マップ・社会資源リストのアップする)
「様式が統一されていない。地域で情報を共有するための連携シートがあると良い」	情報共有シートの開発
「医療依存度の高い患者の退院が増えているが在宅医療についての相談窓口がない」	コールセンター開設
「情報が分散し多職種での情報共有が不十分」 「連絡や相談をするのに手間がかかる」	ICT（医療介護情報共有システム）の開発普及
「患者や家族は在宅医療や看取りについて理解不足。病院や施設志向が強い」	市民セミナーや出前講座の開催
「誤嚥性肺炎で入退院する高齢者が増えている」	誤嚥性肺炎予防プロジェクト (シンポジウム、市民セミナー、口腔ケアの推進 歯科医師、言語聴覚士、歯科衛生士の活動リストの作成)
「夜間や休日など在宅を後方支援する病院やベッドが不足している」	強化型在宅療養支援病院 緊急受け入れベッドの確保

# 多職種多機関との協働による活動

活動内容	連携・協働機関
●情報共有シートの作成	医師会 歯科医師会 薬剤師会 栄養士会 ケアマネ協会 歯科衛生士会 訪問看護連絡協議会
●市民セミナーの開催	民生委員 自治会 地域包括支援センター 訪問看護ST連絡協議会 保健所
●誤嚥性肺炎予防プロジェクト	歯科医師会 歯科衛生士会 理学療法士会
●在宅医療連携拠点活動報告会	県、市、保健所、医師会、在宅医療連携拠点
●言語聴覚士活動リスト作成	言語聴覚士会
●歯科医師・歯科衛生士活動リスト作成	歯科医師会、歯科衛生士会
●地域包括ネットワーク会議	地域包括支援センター
●シンポジウム	職能団体 国立長寿医療研究センター 東京大学
●合同カンファレンス等の開催協力	県 保健所

# 多職種多機関の協働に向けての工夫と相乗効果

- ☑ステークホルダーへの訪問活動は積極的に行う。
- ☑ 合同カンファレンスでGW、名刺交換、意見交換会、懇親会などの企画をする。
- ☑ ホームページにて情報発信や資料提供を行う。
- ☑ 市民セミナーは多機関と共同開催をする。
- ☑ 研修会やシンポジウムの講師は周辺圏域で活躍する人を各職能団体から推薦を受ける。
- ☑ 研修会の企画や関係資料作りを職能団体と共同作業を行う。
- ☑ 地域課題の解決は多職種多機関と協力して行っている。
- ☑ 地域ケア会議や他の職能団体が行う研修会への積極的参加ならびに 講師派遣。

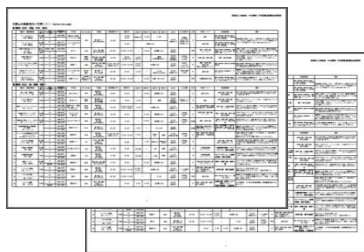
効果

- 顔の見える関係づくりと信頼関係の構築。
- 地域課題の共通認識ができる。
- 自らの気づきと活動を促進することができる。
- 関係職種の専門性についての相互理解とお互いの気心を知ることができる。
- きっかけづくりをすれば地域での協調意識が高まり自主的に連携の輪が広まった。
- 目標に向けての協働体制が強くなった。
- 職種間だけでなく職能団体間など重層的なネットワークの形成が出来てきている。
- 地域で面的支援のための基盤づくりができる。

**人と人との関係性の上に地域包括ケアシステムが成り立つ。**



# ホームページより社会資源の情報発信や書類のダウンロード



A large grid of text containing various social resource information, likely a list of services or organizations.

和歌山市高齢者向け住居リスト



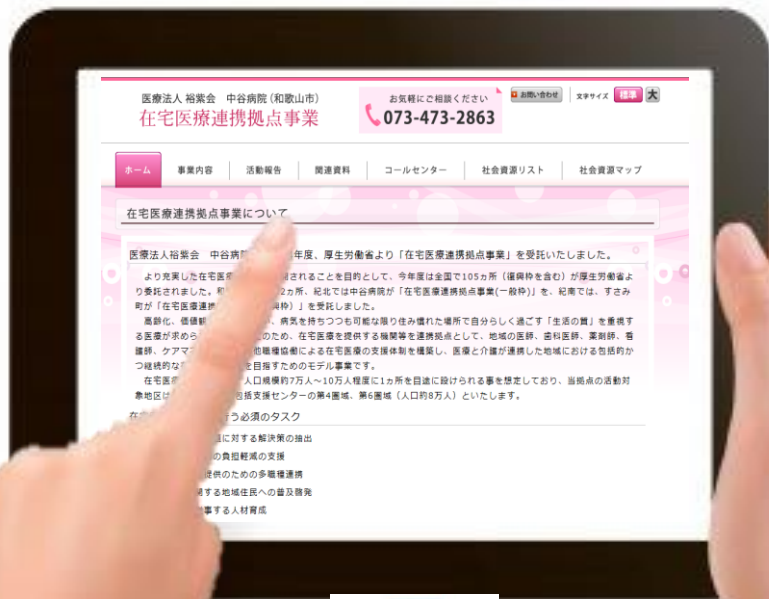
Information page for Wakayama Castle, including a photo of the castle and a table of details.

社会資源一覧



A decorative sheet titled "わたしの在り方シート" (My Location Sheet) with a floral border and a form for personal information.

わたしの在り方シート



A hand holding a tablet displaying the website for the Home Medical Mobile Point Project. The website header includes the name "医療法人 地薬会 中谷病院 (和歌山市) 在宅医療連携拠点事業" and a phone number "073-473-2863". The main content area has a pink background and text about the project's goals and services.

医療行為に関する事前確認書



A form for pre-confirmation of medical procedures, with fields for patient information and medical details.



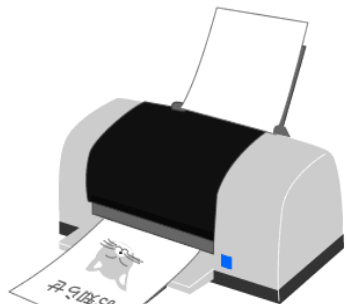
A form for terminology explanation, containing text and small illustrations of people.

治療行為の用語説明



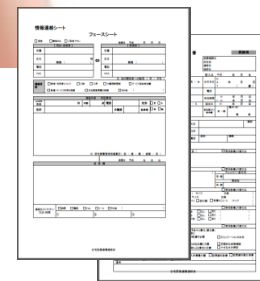
A stack of documents representing a collection of terminology used in medical settings.

医療現場でよく使われる用語集



A guide for dental clinics in Wakayama City, featuring a logo and a table of information.

和歌山市歯科診療所ガイド



A contact information sheet with various fields for patient and provider details.

情報連絡シート

相談窓口一覧



A table listing various consultation windows, including names, addresses, and phone numbers.

<http://www.zaitaku-wakayama.net/>

和歌山市 在宅医療連携拠点事業

検索

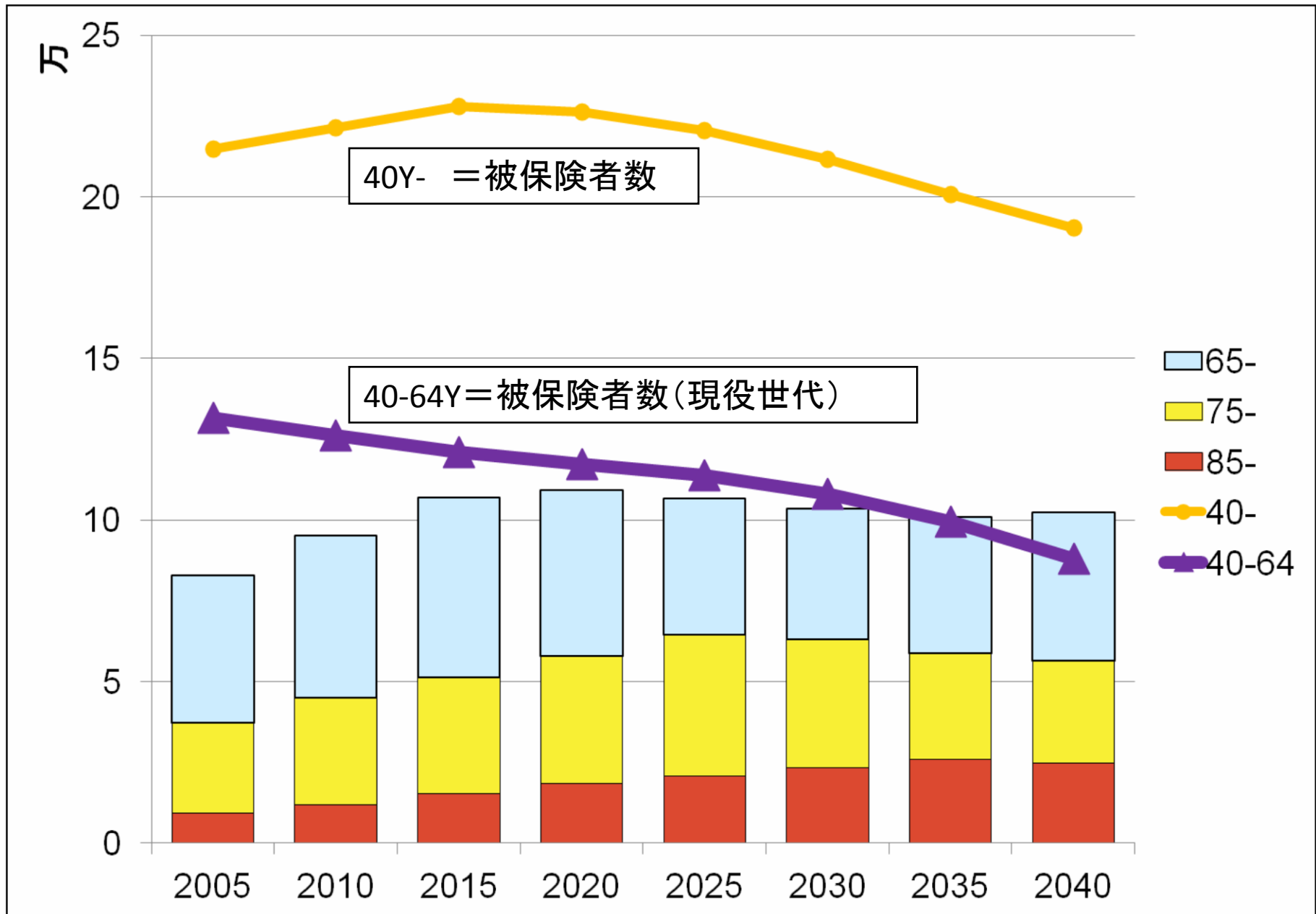




**和歌山市保健所の立場から・・・**

**在宅医療連携拠点事業の取り組みがどのように市  
域全体で展開していったか**

# 和歌山市の将来人口推計(介護保険の視点から)



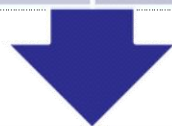


# 和歌山市における在宅医療連携の取り組みの進み具合

## 平成24年度 在宅医療連携拠点事業(中谷病院)

多職種・多機関参加の合同カンファレンス  
課題の抽出と具体的な解決策の展開

関係機関がそれぞれの役割に気づき、見出し、取組を展開



## H25~27年度

和歌山市医師会在宅医療連携推進協議会

在宅医療連携拠点事業に6病院が着手  
連絡会で情報共有



## H27年度~

和歌山市医師会  
在宅医療連携サポートセンター

和歌山市在宅医療連携推進協議会の設置・運営  
地域包括支援センターの増設(8⇒15ヶ所)



## H29年度

地域包括ケアシステム・・・介護保険事業の中で展開

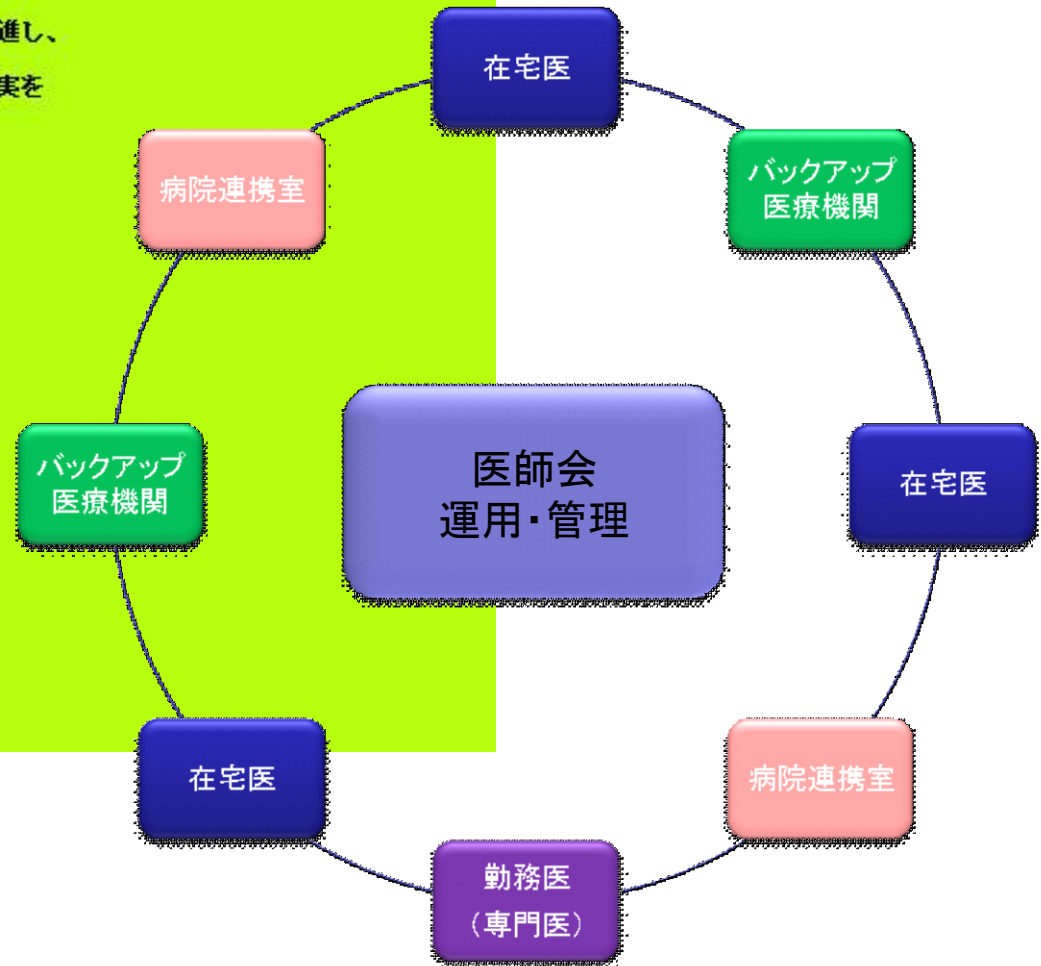
# 和歌山市医師会の在宅医療連携推進協議会の設置・現状把握・MLの運用

H25年12月2日運用開始

和歌山市医師会  
在宅医療連携推進協議会

—目的—

在宅医療に携わる医師ならびに関連多業種間の連携を促進し、  
入院医療から在宅医療への円滑な移行や、在宅医療の充実を  
はかり地域医療に貢献する



# 和歌山市保健所における在宅医療連携推進への取組

- ➡ 中谷病院の在宅医療連携事業に参画 ⇒
    - ➡ 6か所の拠点事業所・総合病院等と連携・協働
    - ➡ 市医師会(在宅医)と連携・協働
  - ➡ 「和歌山市在宅医療連携推進協議会」を設置
    - ・・・市域全体を俯瞰
      - ➡ 課題の抽出・解決に向けた取組
      - ➡ 全病院が同じ意識をもって退院支援・在宅支援を展開
      - ➡ 地域包括支援センターの増設・機能強化と一体的に展開
      - ➡ 在宅医療・介護の質の確保・向上にむけた取り組み
      - ➡ 市民意識の向上・学びの場
      - ➡ 地域医療ビジョンの策定とも連動して！
- ⇒H29年度以降 介護保険事業の中で『地域包括ケアシステム』として円滑に運営できるように！

全ての市民が住み慣れた地域で生涯を通じ状態に応じた適切な医療・介護を受け、最期を迎えることができるまちを目指して！